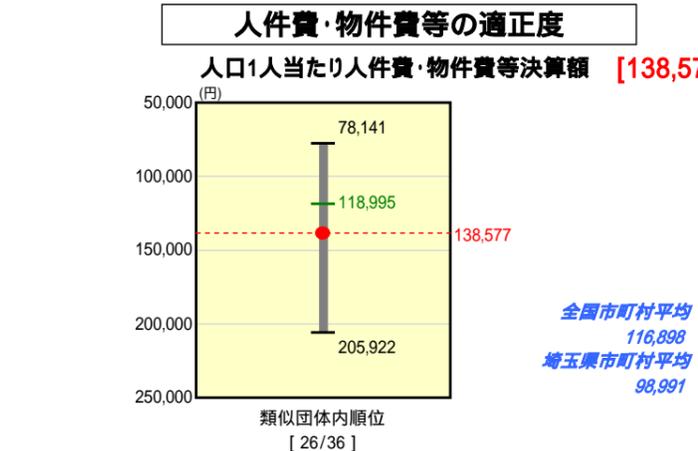
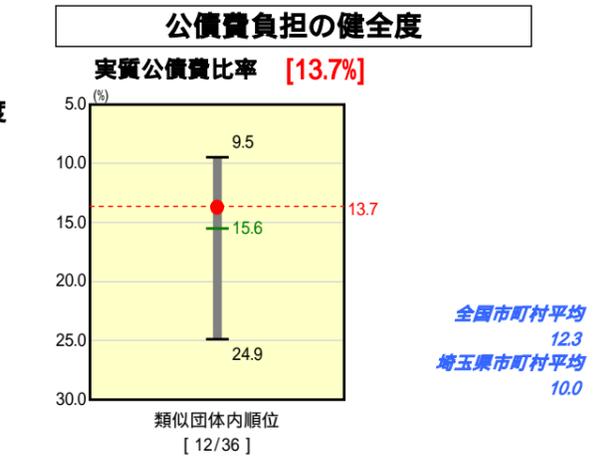
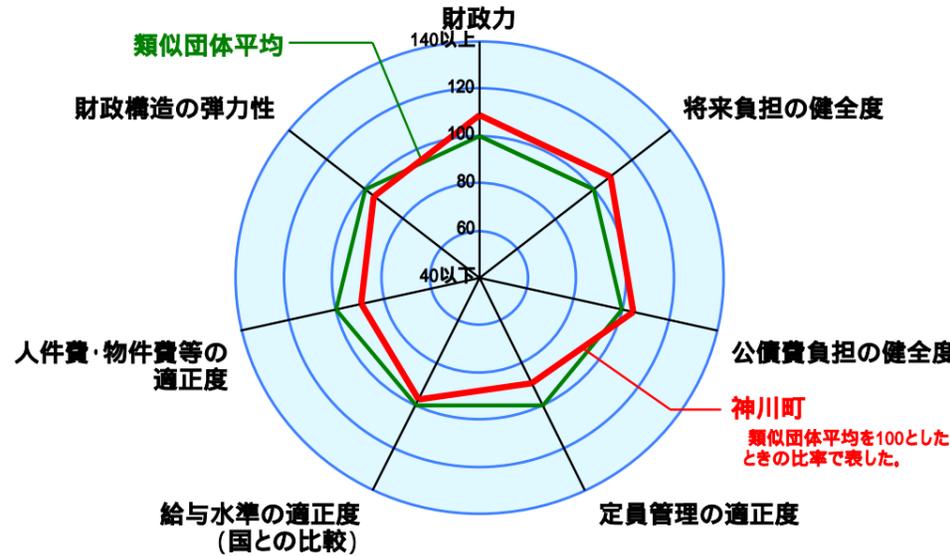
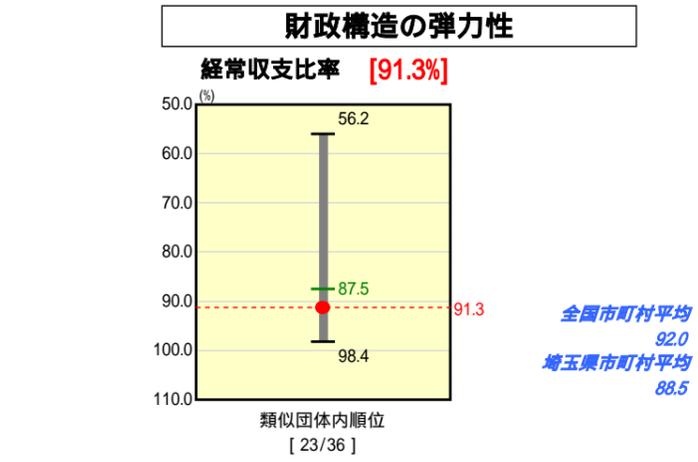
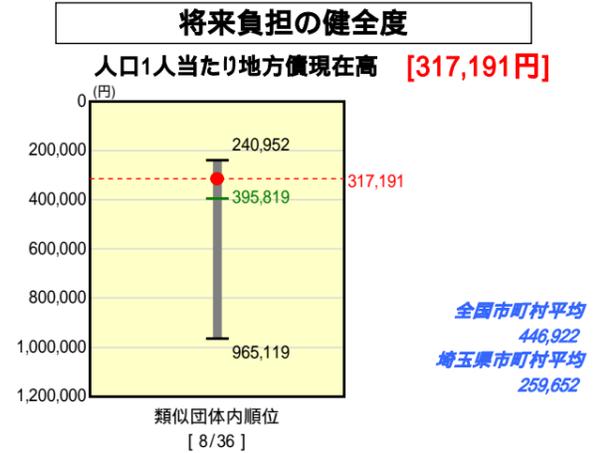
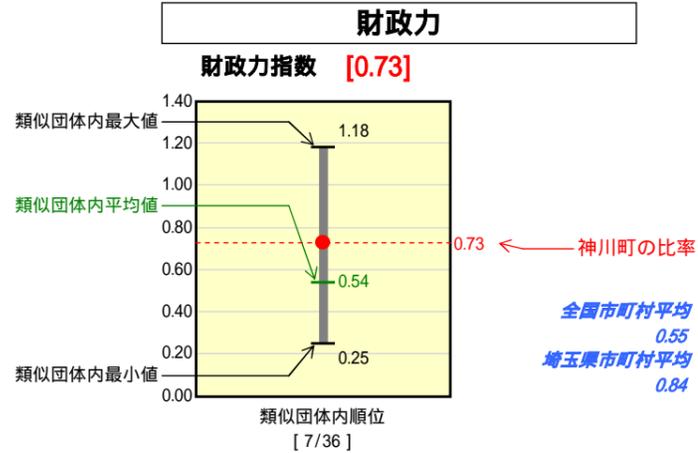


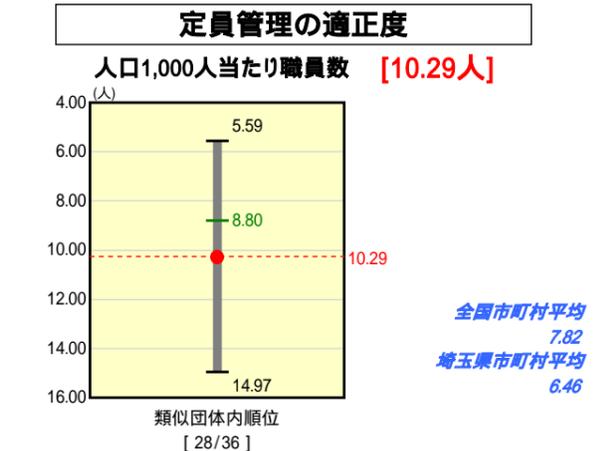
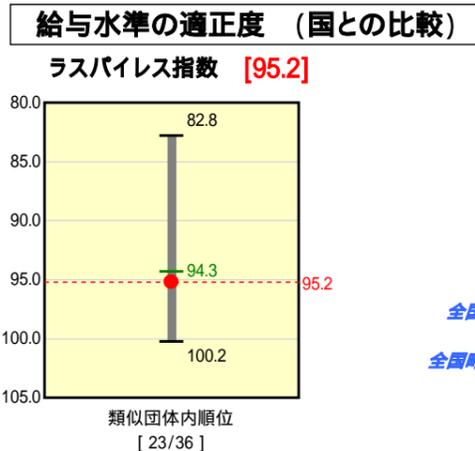
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 埼玉県 神川町

人口	14,681人	(H20.3.31現在)
面積	47.42	km <sup>2</sup>
歳入総額	5,432,350	千円
歳出総額	4,966,237	千円
実質収支	457,973	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
国から地方への税源移譲後の個人町民税は、前年比35.6%増の5億8,393万6千円であった。また、固定資産税が前年比2.0%増、たばこ税率の引き上げによりたばこ税が前年比2.5%増となるなどにより、財政力指数が0.03上昇した。

**経常収支比率**  
扶助費及び公債費の増加(更正医療費、児童手当及び臨時財政対策債償還費の増)が比率押し上げ要因であるが、「集中改革プラン」に掲げた「定員管理及び給与の適正化等」により、新規採用の抑制(5年間は新規採用を実施しない、5年経過後は、前年度退職者数の1/2採用)による職員数の減、手当ての見直し等給与の適正化による人件費の削減(前年比4.0%)など行財政改革への取組を通じて義務的経費の削減に努めた効果により、1.7%改善した。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、給食センター・保育所・幼稚園などの運営を直営で行っている施設が多いためである。今後は「集中改革プラン」に掲げた「設置目的を達成した施設、民間と競合する施設等については、施設存続の必要性や公的関与の必要性を検証し、廃止・統合・民間譲渡等を検討し、コストの低減を図っていく方針である。

**人口1人当たり地方債現在高**  
人口1人当たりの地方債現在高は、県内市町村平均を上回っており、今後も臨時財政対策債の発行に伴い残高は増加することが見込まれるが、起債については交付税措置等を考慮しつつ新規発行債の抑制を行い、財政の健全化に努める。

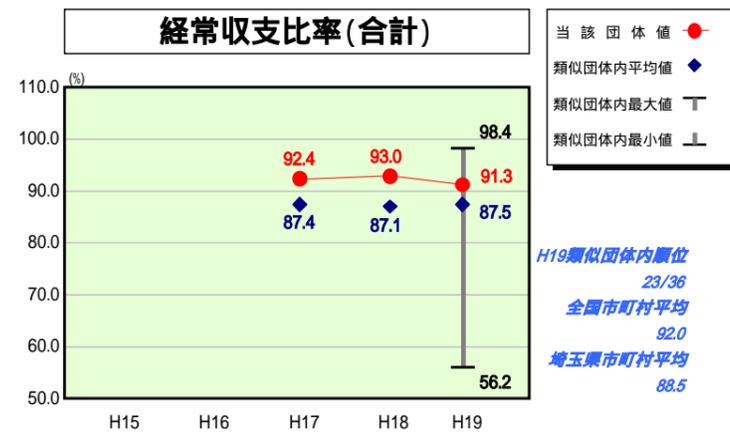
**実質公債費比率**  
前年度に比べて0.4%ポイント低下したが、全国平均を上回っており、今後の事業を選択し、適正な借入に努める。

**人口1,000人当たり職員数**  
小規模団体の市町村合併のため、人口1,000人当たりの職員数が多い状況にあるが、合併後5年間は新規職員を採用しないなどの職員数削減と集中改革プランに沿った事業の見直し等により、今後も適切な定員管理に努める。

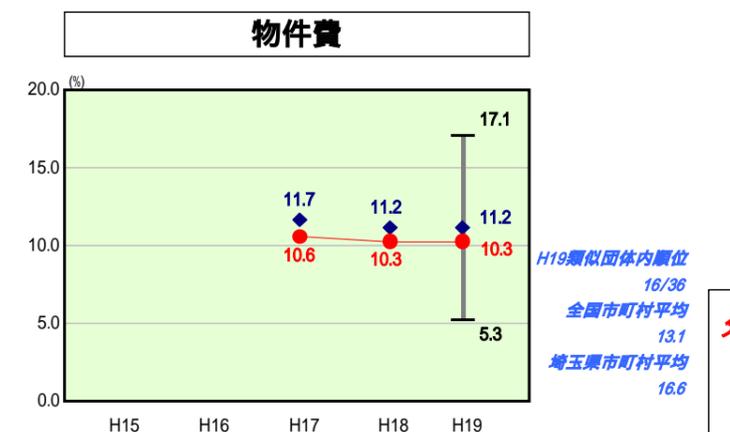
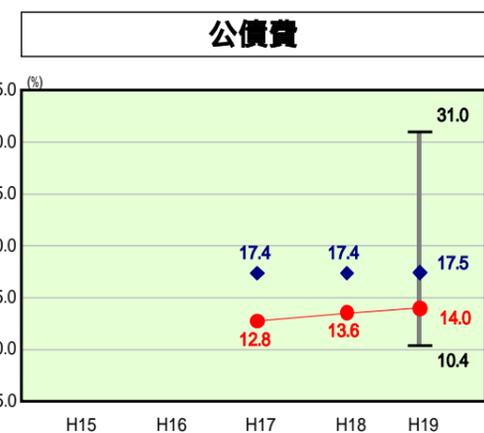
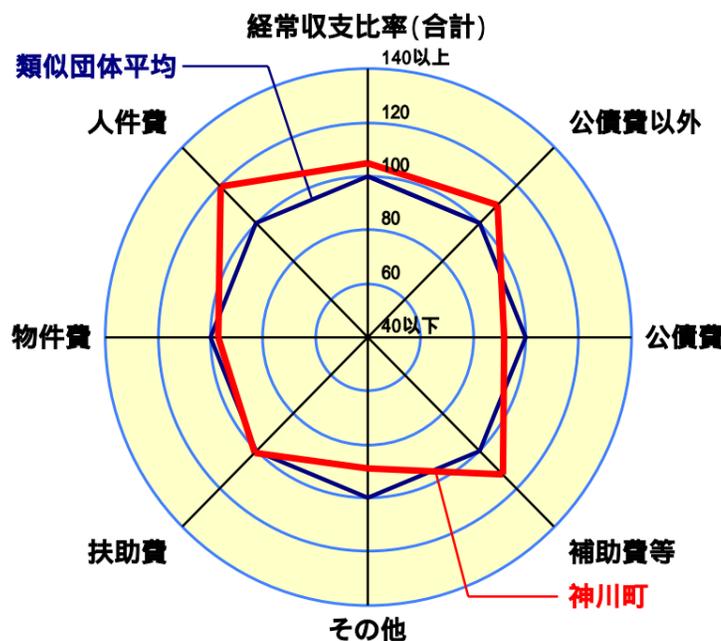
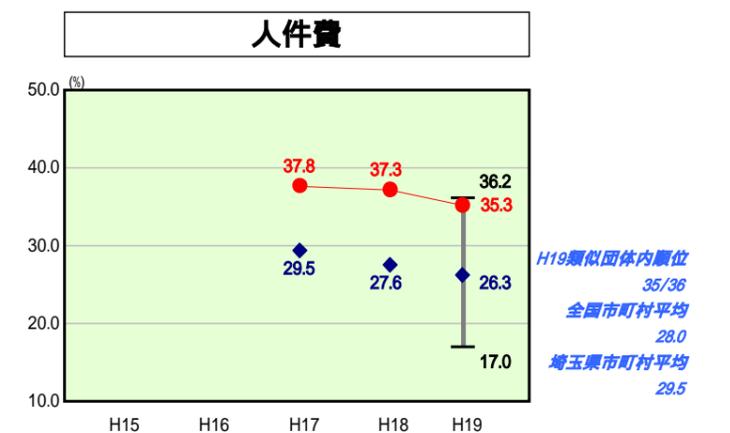
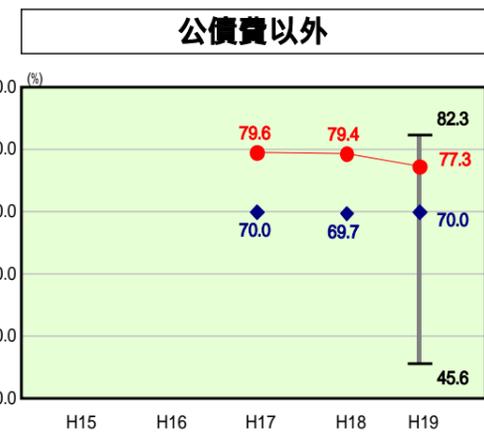
# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

埼玉県 神川町

## 経常収支比率の分析



人口	14,681人(H20.3.31現在)
面積	47.42 km <sup>2</sup>
歳入総額	5,432,350千円
歳出総額	4,966,237千円
実質収支	457,973千円



- 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**人件費**  
 直営の保育所や幼稚園、診療所があるため類似団体と比べ住民に対する職員数が増えており、類似団体の人件費と比較すると非常に高くなっている。行政改革集中改革プランに基づき、合併後5年間の職員不採用や地域手当等の見直しにより、人件費の削減を行っていく。

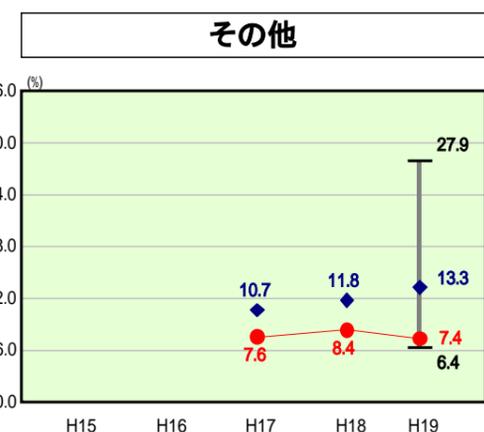
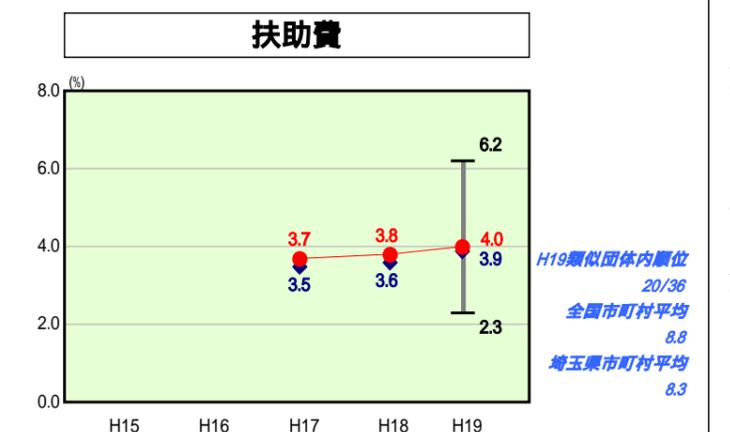
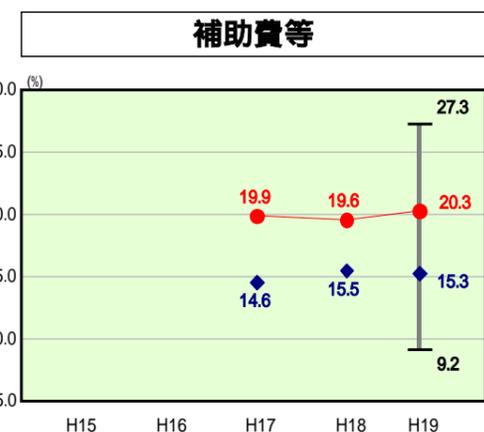
**物件費**  
 委託料や備品購入費、消耗品費などの経常的経費の削減を行うとともに、経費全体の削減に努めたため、物件費の割合については前年度と同数となった。翌年度以降についても歳出内容を検討し見直し、削減を行っていく。

**扶助費**  
 全国市町村平均及び埼玉県市町村平均は大幅に下回っているものの、類似団体平均と比較すると上回っている。また、前年度と比較すると0.2ポイント上がっているが、これは、更正医療費の負担の増加や児童手当支給制度の改正によるものである。また、町単独で行っている事業については、今後も、受益者負担や事業の見直しを行い、事業の適正化を図っていく。

**公債費**  
 類似団体平均、全国市町村平均、埼玉県市町村平均を下回っているが、今後も事業を選択し適正な起債を行っていく。

**補助費等**  
 補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、類似団体と比べ標準財政規模に対する一部事務組合への補助費等が高いためである。また、各種団体への補助金については、H19年度より段階的に削減を行っていく。

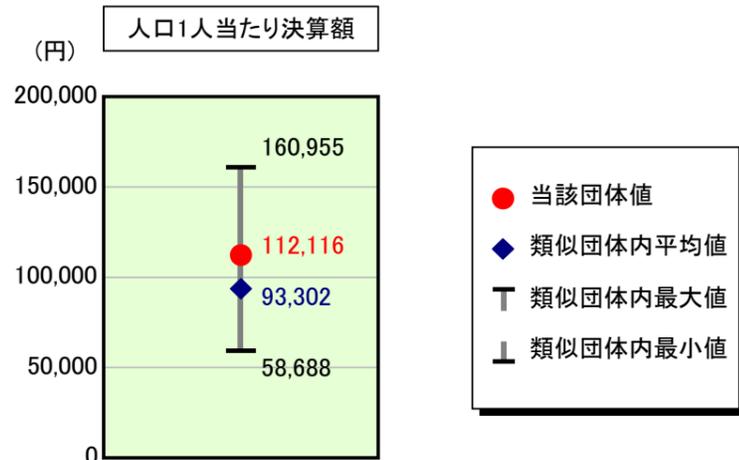
**その他**  
 その他に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っているが、類似団体平均では下水道事業に対する操出金割合が非常に高いが、当町では平成13年度から下水道事業が始まったため、大きく下回っている。しかし国民健康保険事業会計の財政悪化に伴い赤字補てん的な操出金が増加しているため、保険料の適正化を図る必要がある。



# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

埼玉県 神川町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



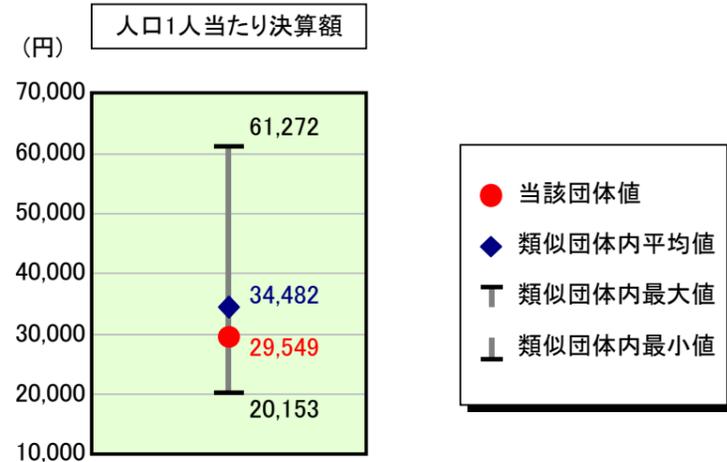
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
人件費	1,417,820	96,575	77,329	24.9
賃金(物件費)	43,415	2,957	5,043	41.4
一部事務組合負担金(補助費等)	297,740	20,281	13,599	49.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	652	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	1	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	3,478	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	17,844	1,215	1,414	14.1
退職金	130,845	8,913	8,215	8.5
合計	1,645,974	112,116	93,302	20.2

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.29	8.80	1.49
ラスパイレス指数	95.2	94.3	0.9

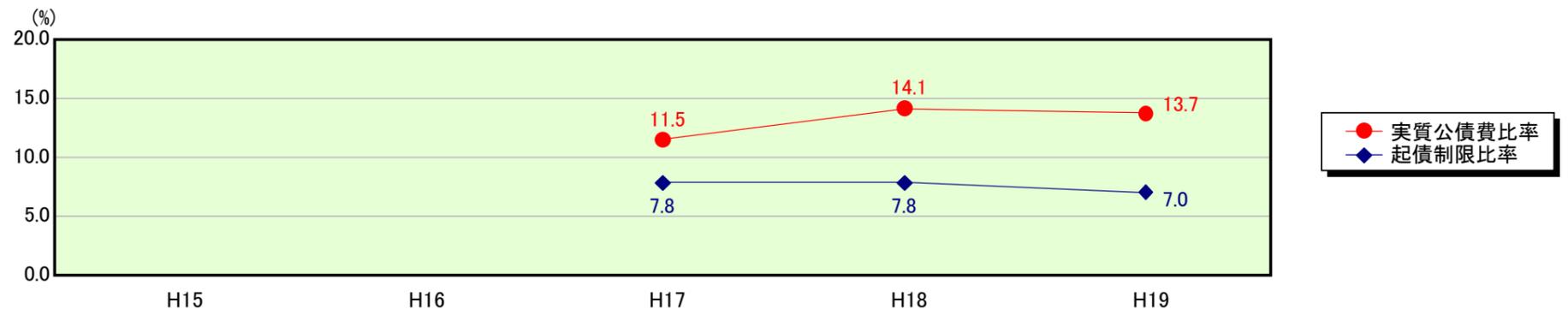
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

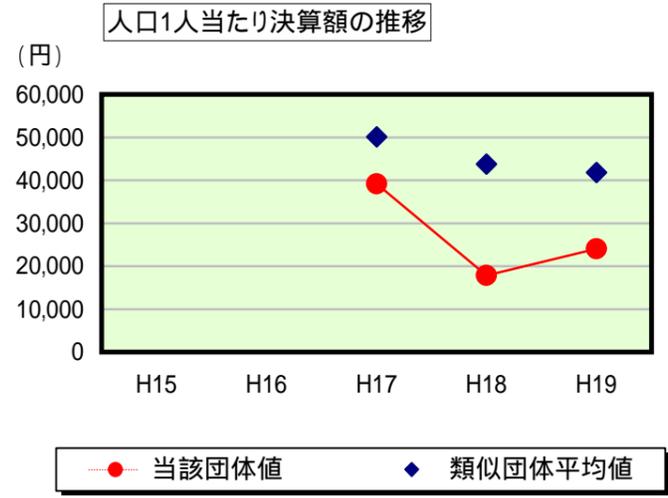
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	498,591	33,962	45,477	25.3
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	30,587	2,083	17,571	88.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	184,011	12,534	7,012	78.8
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	98,999	6,743	2,997	125.0
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	17	-
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	378,374	25,773	38,593	33.2
合計	433,814	29,549	34,482	14.3

### ※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
H15	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H16	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H17	580,091	39,150	-	50,081	-	-
うち単独分	537,309	36,263	-	32,308	-	-
H18	262,706	17,860	54.4	43,735	12.7	41.7
うち単独分	216,359	14,709	59.4	26,982	16.5	42.9
H19	353,455	24,076	34.8	41,791	4.4	39.2
うち単独分	129,398	8,814	40.1	25,330	6.1	34.0
過去5年間平均	398,751	27,029	9.8	45,202	8.6	1.2
うち単独分	294,355	19,929	49.8	28,207	11.3	38.5